

連携医療機関のご紹介

「“家で暮らしたい”を支えたい」 地域密着で住民の暮らしと命を支える

地域のニーズに合わせた体制づくり

「なんでも相談できる身近な家庭医」をモットーに、2003年4月に開院しました。当初はクリニックと通所リハを併設して運営していましたが、2008年に居宅介護支援事業所、2012年3月にグループホーム「ひおきの里」と小規模多機能ホーム「ひおきの丘」を開設。その後2016年には訪問看護ステーション、昨年には認知症デイサービスも開設しました。日吉町の人口は5,000人弱ですが高齢化率がおよそ40%になります。地域の皆さんのニーズを考えていたら、こういう施設体制になりました。当院は強化型在宅支援診療所として、地域内の2院の先生方とチームを組んで、24時間365日の在宅医療に対応しています。診療を行うにあたり、米盛病院のような急性期病院の後方支援は大変心強いと感じています。

地元の皆さんへの思いに寄り添う

外来は非常勤の先生を含む3名で対応しています（内科・循環器内科・消化器科）。在宅医療では、訪問看護師にかかる比重が大きいですので、月に1回、法人内の多職種カンファレンスを実施したり、



医療法人 みゆき会 みゆきクリニック



〒899-3101

日置市日吉町日置390-1 ☎ 099-246-8707

【診療時間】8:45～12:30、15:00～18:00 ※受付は診察

終了時刻の30分前まで 【訪問診療】13:30～15:00

【休診日】日曜、祝日、水曜午後（訪問診療はあり）、土曜午後

ホームページ <http://www.miyuki-clinic.net/>



クリニックから「ひおきの里」に上る階段沿いに坪内先生のお母様が植えられたアジサイが咲き誇る

スマホの情報共有システムを使ったりするなどして、リアルタイムで患者さん情報の共有に努めています、成果も出ていると感じています。

家族的な絆も強い地域なので、学校医や産業医もしています。「この地元で生まれ育って、死ぬのもここがいい」という方が多く、そういう思いに寄り添って、頭の先から足の先まで、患者さんの健康とか人生とかを丸ごと診て差しあげるつもりで診療に臨みたいと思っています。

“家で暮らしたい”を支える

来期のミッションは「“家で暮らしたい”を支えます」。他の医療機関さんや介護施設さんたちと連携を取りながら、地域の方の暮らしや命を、スタッフ一丸となって支えていかなければいけないと思っています。そのためにも、お茶会やグラウンドゴルフ大会などを通して、普段からの交流を大事にしています。

職員数は約60名。笑顔が絶えない明るい雰囲気が印象的

日置市日吉町で在宅サービスを中心とした医療を提供する
「みゆきクリニック」の坪内みゆき先生にお話を伺いました。

医療法人 みゆき会
みゆきクリニック
理事長
坪内 みゆき 先生

